

經濟水道委員會

說明資料

平成 2 7 年 9 月 2 5 日

市 民 經 濟 局

目次

頁

1	名古屋城天守閣整備にかかる想定スケジュール	1
2	市民への説明会の概要	2
3	技術提案・交渉方式	3
4	概算経費及び経済波及効果	6
5	他城郭の比較（市長による調査結果）	8
6	名古屋城天守閣整備に関する調査	10
7	平成24年度名古屋城天守閣木造復元概算経費・工期算出調査による 工期	11
8	名古屋城天守閣にかかるフォーラム等の開催実績	12
9	平成27年度名古屋城天守閣フォーラム	15
10	石垣に関する考え方	15
11	名古屋城天守閣整備にかかる財源	16

《添付資料》

江戸城天守再建に係る経済効果等調査報告書（抜粋）

平成27年度名古屋城天守閣フォーラムの当日資料

1 名古屋城天守閣整備にかかる想定スケジュール

区 分	内 容
平成 27 年 11 月	技術提案の募集 学識経験者の意見聴取
平成 27 年 12 月 ～平成 28 年 3 月	タウンミーティング等
平成 28 年 3 月	技術提案の審査・評価 優秀提案の選定 (工期・工程・概算事業費等) 学識経験者の意見聴取
平成 28 年 4 月 ～平成 32 年 7 月	議会への報告 市民アンケート 議案の提出 (設計費予算) 基本協定締結・設計業務委託契約 設計の実施 価格等の交渉 議案の提出 (工事費予算) 議案の提出 (工事契約) 工事請負の契約 工事着手 天守閣竣工 学識経験者の意見聴取

注 石垣工事は継続して実施

2 市民への説明会の概要

(1) タウンミーティング等

区 分	内 容
時 期	平成27年12月～平成28年3月
方 法	16区で実施するほか、地域からの要望等により、きめ細かな説明方法を検討して実施
場 所	16区の区役所講堂等
参 加 者	数十人から200人程度を想定
説明内容	・ 天守閣の現状・課題・過去の調査結果 ・ 技術提案・交渉方式の調査内容 ・ 経済波及効果 など
聴取内容	天守閣の整備に対する意見 など

(2) 現場見学会

区 分	内 容
時 期	平成28年1月～3月
場 所	名古屋城内
参 加 者	延べ200人程度を想定
説明内容等	・ 天守閣及び石垣等の見学 ・ 天守閣の現状・課題・過去の調査結果 ・ 技術提案・交渉方式の調査内容 ・ 経済波及効果 など
聴取内容	天守閣の整備に対する意見 など

3 技術提案・交渉方式

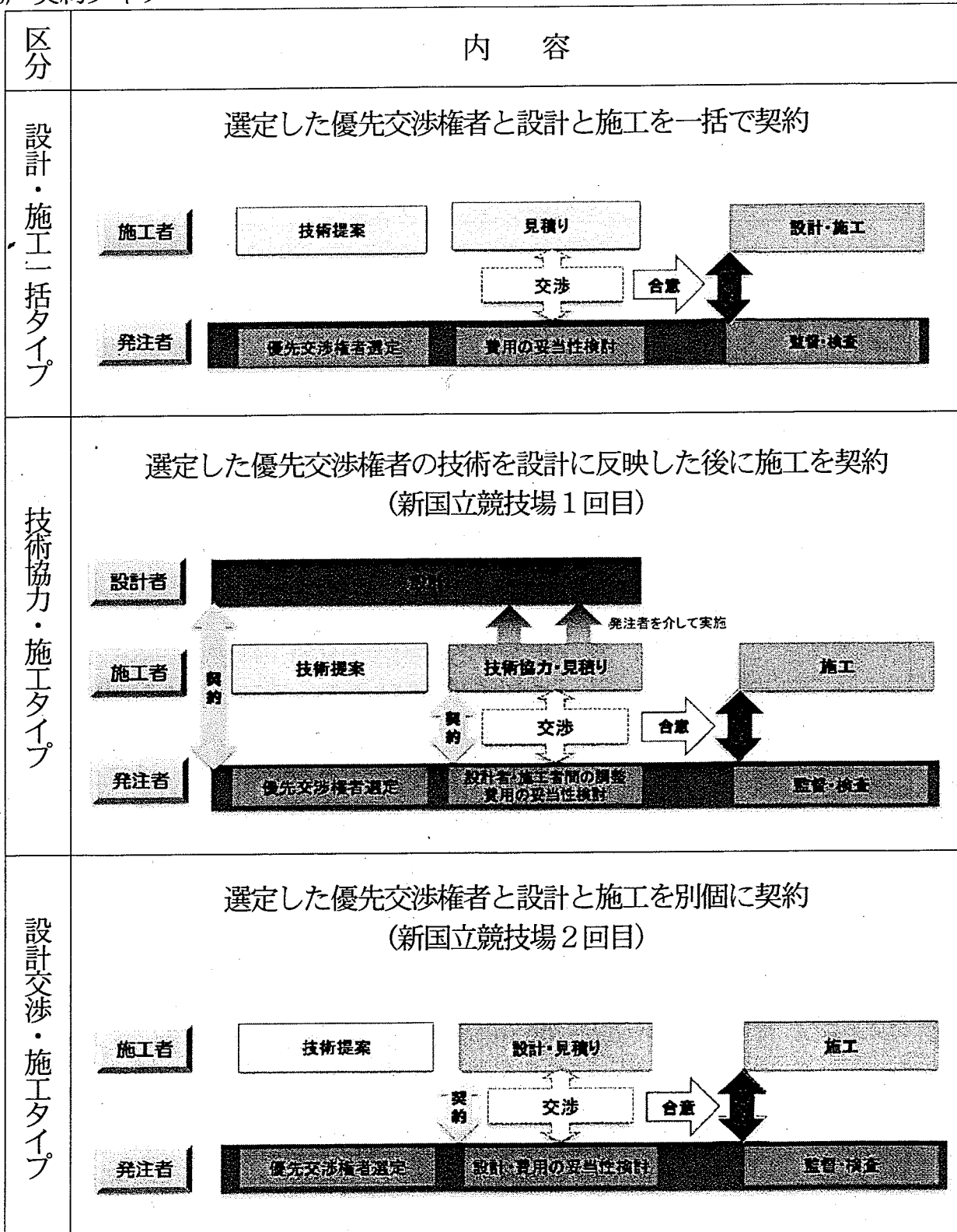
(1) 採用した理由

- ・劣化した石垣や既存ケーソン基礎の取扱いなど様々な課題があり、仕様の確定が困難である
- ・特別史跡内に大規模木造建築物を復元する工事であるため、最も優れた技術提案によらなければ工事目的の達成が難しい

(2) メリット、デメリット

区 分	内 容
メリット	・これまでにない厳しい条件下で、高度な技術が必要とされる工事の施工が可能である ・施工業者がノウハウを活かして設計を行うことから、効率的な施工が可能となり、工期の短縮に繋がる
デメリット	・提案する目的物の品質・性能と価格等のバランスの判断が困難となり、発注者にとって過剰な品質で高価格な提案となる恐れがある ・施工業者が実施する設計に対し、的確な判断や指示を行う能力が発注者に必要となる

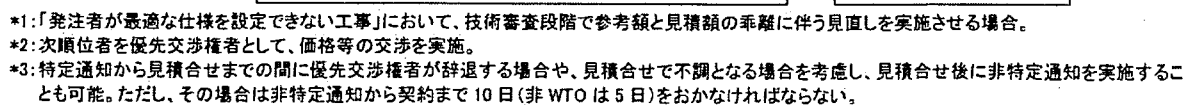
(3) 契約タイプ



注1 本市では契約の前に予算等の議決が必要

2 名古屋城天守閣整備は「設計交渉・施工タイプ」を想定

注 「国土交通省直轄工事における技術提案・交渉方式運用のガイドライン」より



(5) 平成26年度の調査における仕様設定が困難な主な事項

・バリアフリーへの対応 ・大径木等の調達 ・既存ケーソンなど基礎構造の取扱い ・史跡保護を踏まえた工事仮設計画
--

(6) 提案募集の内容案

区 分	内 容
工事内容	・現天守閣解体工事 ・本体工事 ・石垣工事
提案内容	・業務実施方針 ・概算事業費 ・木材の調達 ・工程計画 ・構造計画 ・仮設計画 ・バリアフリー化 ・復元過程の公開方法 ・現天守閣の記憶を後世に伝える方策 など
設定条件	・2020年7月までに天守閣を竣工すること ・原則として国産材を使用すること（調達困難な場合は代替案を提示） ・石垣などの遺構を傷つけないこと ・来場者の安全を確保すること など

4 概算経費及び経済波及効果

(1) 木造復元及び耐震改修

区 分	木造復元	耐震改修
概算経費	約270～400億円	約29億円
建設工事による 経済波及効果	約530～780億円	約60億円
入場者数の増加に よる経済波及効果	約100億円 (約165万人)	—

注 木造復元による入場者数の増加は、名古屋城本丸御殿に関する調査を参考として算出

- (2) 復元的整備（木造によるできうる限り史実に忠実な復元ではなく、外観を復元しつつ、屋内の利活用の観点から内部の意匠・構造を変更して、建築物その他の工作物を遺跡の直上に再現する行為）

区 分	内 容
概算経費	約108億円
建設工事による 経済波及効果	約210億円
入場者数の増加に よる経済波及効果	約20億円 (約31万人)

- 注1 復元的整備には多様なものがあるため、仮に鉄骨鉄筋コンクリート造による現天守閣相当のものと想定し算出
- 2 入場者数の増加は、平成2年の名古屋城天守閣の改修工事前後の入場者数を参考として算出
- 3 文化庁の見解によれば「天守の再建については、整備主体である地元の自治体がどのような内容の整備を行うか考えることが第一」「その上で、天守を復元する場合は、原則として材料等は同時代のものを踏襲する必要があるが、それ以外の可能性を排除するものではない」「名古屋城天守閣については、往事の資料が十分そろっていることを踏まえると、いわゆる復元検討委員会において木造によるできうる限り史実に忠実な復元をすべきとの意見が出される可能性が極めて高いと考えられる」とされている

(3) 経済波及効果の算出方法

- ・ 建設工事による経済波及効果は、総務省が平成23年度産業連関表のデータから作成した経済波及効果の簡易計算ツールを用いて算出した
- ・ 入場者数の増加による経済波及効果は、「名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成25年度）」及び簡易計算ツールを用いて単年度ベースで算出した

5 他城郭の比較（市長による調査結果）

(1) 整備前後の入場者数等

区 分		熊本城	姫路城	掛川城	大洲城
整備内容		本丸御殿 一帯整備	大天守 保存修理等	天守復元	天守復元
事業費 (千円)		5, 379, 900	3, 692, 475	2, 218, 060	1, 594, 276
入 場 者 数 (人)	着工前	790, 853	1, 195, 004	7, 944	—
	竣工後	2, 219, 517 (2. 8 倍)	2, 000, 000 (1. 7 倍)	494, 170 (62. 2 倍)	85, 952
	26 年度	1, 631, 690 (2. 1 倍)		117, 374 (14. 8 倍)	27, 162
入 場 料 収 入 (千円)	着工前	293, 892	580, 075	1, 116	—
	竣工後	854, 614 (2. 9 倍)	2, 563, 016 (4. 4 倍)	129, 785 (116. 3 倍)	24, 138
	26 年度	662, 825 (2. 3 倍)		39, 063 (35. 0 倍)	11, 716
売 店 等 収 益 (千円)	着工前	88, 679	97, 470	—	—
	竣工後	346, 318 (3. 9 倍)	200, 000 (2. 1 倍)	—	1, 896
	26 年度	290, 225 (3. 3 倍)		6, 500	1, 791

注1 () 書きは着工前と比較した伸び率

2 姫路城は平成 27 年 3 月 27 日から公開のため、「竣工後」及び「26 年度」欄は平成 27 年度の予想値

3 掛川城の売店は平成 25 年までは未設置

(2) 財源内訳

(単位：千円)

区 分	財 源	金 額	割 合
熊本城本丸御殿一帯整備	補助金	1,565,688	29.1%
	地方債	1,798,600	33.4%
	寄附金	1,019,372	19.0%
	一般財源等	996,240	18.5%
	計	5,379,900	100.0%
姫路城大天守保存修理等	補助金	1,794,650	48.6%
	地方債	131,200	3.6%
	寄附金	422,229	11.4%
	一般財源等	1,344,396	36.4%
	計	3,692,475	100.0%
掛川城天守復元	補助金	50,000	2.3%
	地方債	1,210,000	54.6%
	寄附金	500,000	22.5%
	一般財源等	458,060	20.6%
	計	2,218,060	100.0%
大洲城天守復元	補助金	9,200	0.6%
	地方債	859,300	53.9%
	寄附金	446,500	28.0%
	一般財源等	279,276	17.5%
	計	1,594,276	100.0%

(3) 江戸城天守閣を再建する場合の事業費等

- ・事業費 約350億円
- ・経済波及効果 初年度で約1,000億円
- ・雇用創出効果 約8,000人

注 認定NPO法人江戸城天守を再建する会「平成25年度事業報告書」による

6 名古屋城天守閣整備に関する調査

(1) 概要

(単位：千円)

年度	区 分	委 託 先	決算額
24	天守閣木造復元概算経費・工期算出調査 ・概算経費・工期	(有)建築文化研究所	893
	天守台測量調査 ・水準、基準点測量の実施 ・図面の作成	(株)パスコ	2,580
25	名古屋城整備課題調査 ・博物館機能の調査 ・工事期間中の入場者数への影響調査 ・木造復元にかかる廃棄物の調査	(株)地域計画建築研究所	2,037
26	名古屋城整備検討調査 ・文化財・展示物等移転方針の検討 ・既存建築物取り扱い方針の検討 ・石垣保存方針の検討 ・建築方針の検討 ・施設のあり方方針の検討	(株)大建設計名古屋事務所	14,267 (見込)

(2) 平成26年度における主な調査

区 分	内 容
文化財・展示物等移転方針の検討	・平成23年度「名古屋城展示・収蔵あり方調査業務」及び平成25年度「名古屋城整備課題調査」の報告書进行分析
既存建築物取り扱い方針の検討	・現天守閣の図面等の確認及び解体手法の比較検討
石垣保存方針の検討	・現地調査及び業者ヒアリング
建築方針の検討	・木材専門家へのヒアリング及び参考文献による調査 ・昭和実測図及び昇降機関係の資料分析 ・現天守閣の図面の確認及び現地調査による基礎及び工事仮設計画の検討
施設のあり方方針の検討	・各種統計資料などの分析 ・現地調査による工事ヤード及び入場者動線の検討

7 平成24年度名古屋城天守閣木造復元概算経費・工期算出調査による工期

区 分	工 期
解体工事	約3年
石垣工事	約9年
復元工事	約6年
全 体	約18年

8 名古屋城天守閣にかかるフォーラム等の開催実績

(1) 平成27年度

名 称	名古屋城天守閣フォーラム ～名古屋城自慢—DJ対決— つボイノリオ VS. クリス・グレン～
内 容	名古屋城に造詣が深いDJによる名古屋城自慢対決を行った後、市長を交えて名古屋城対談を実施 日 時：平成27年8月29日（土）13:00～15:30 場 所：名古屋能楽堂 出席者：コーディネーター 瀬口 哲夫（名古屋市立大学名誉教授） パネリスト つボイノリオ（ラジオパーソナリティー） クリス・グレン（ラジオDJ／タレント） 河村 たかし（名古屋市長）
主な意見	・「木」にしていいただきたいと強く思う。残していく価値はそこにこそあると思う。もっとアピールできる方を選人すると良い ・当時の姿を復元できるなら、見てみたい ・現在のままで全く問題はないと思う ・現在の天守閣を今後大切に保存していいただきたいと思う
執 行 額	1,235,210 円（名古屋城費「運営管理」から支出）

(2) 平成26年度

名 称	名古屋城天守閣フォーラム ～木造復元について考える～
内 容	建築・城郭・木材・文化財保存修復などの専門家を招き、天守閣を木造復元することの意義や課題について、パネルディスカッションを実施 日 時：平成26年9月6日（土）13:00～15:40 場 所：名古屋市公館1階 レセプションホール 出席者：コーディネーター 瀬口 哲夫（名古屋市立大学名誉教授） パネリスト 安藤 直人（東京大学特任教授（名誉教授）） 千田 嘉博（奈良大学学長） 麓 和善（名古屋工業大学大学院教授） 三浦 正幸（広島大学大学院教授） 河村 たかし（名古屋市長）
主な意見	・ぜひ木造天守閣を実現してほしい ・“尾張名古屋は城でもつ”と言われるように天守閣は名古屋のシンボルである。一刻でも早く本来の木造で復元すべき ・400～1,000年残る天守を建築するのであれば、急いで計画するよりも十分に時間をかけて再建してほしい ・天守閣を建て替える必要性がまだ感じない。やるならば多聞櫓や馬出の復元が望ましい
決 算 額 (見込)	814,166 円（名古屋城費「運営管理」から支出）

(3) 平成23年度

名 称	名古屋城の将来を語る市民大討論会
内 容	名古屋城の目指すべき将来像、名古屋城天守閣の木造復元について、市民、有識者、市長による議論を実施 日 時：平成24年2月19日（日）10:00～13:15 場 所：名古屋市公館1階 レセプションホール 出席者：コーディネーター 瀬口 哲夫（名古屋市立大学名誉教授） パネリスト 片岡 靖夫（中部大学教授） 古池 嘉和（富山大学教授） 麓 和善（名古屋工業大学大学院教授） 山本 勝子（知多ソフィア観光ネットワーク代表） 河村 たかし（名古屋市長）
主な意見	・日本の歴史的文化遺産として後世に残すためにも木造天守閣は必要 ・木造天守閣は名古屋市民の未来の象徴となるので賛成 ・東北隅櫓、多聞櫓の復元を優先すべきで、天守閣の木造復元はその後に考えること ・現在の天守閣はベビーカーや車いす、高齢者の方も多く入場されるが、木造復元するとバリアフリーにならない
決 算 額	2,205,150 円（名古屋城費「運営管理」から支出）

9 平成27年度名古屋城天守閣フォーラム

(1) 経費内訳

(単位：円)

区 分	内 容	執 行 額
運営費	会場設営、看板作成等	496,800
出演者関係費	出演料、旅費等	634,410
会場費	名古屋能楽堂使用料	104,000
計		1,235,210

(2) 参加者の募集方法

広報なごや7月号
名古屋城公式ホームページ

10 石垣に関する考え方

(1) 文化庁

「石垣整備のてびき（文化庁文化財部記念物課監修）」において、城の石垣は「歴史の証拠」及び「安定した構造体」としての価値を有するとされている

(2) 本市

天守台石垣は、特別史跡を構成する重要な遺構であり、築城当時（慶長期）及び江戸中期（宝暦期）の改修時の姿、更には戦災の痕跡をとどめており、歴史的価値が高いものとする

1.1 名古屋城天守閣整備にかかる財源

(1) 基本的な考え方

- ・国や県に対し、天守閣整備の意義や重要性を丁寧に説明し、必要な措置を講じるよう積極的に要望していく
- ・名古屋城は本市のシンボルであり、市民の機運醸成を図ることなどにより、広く財源確保に努める

(2) 想定される財源項目

区 分	内 容
国・県支出金	・国土交通省所管の社会資本整備総合交付金、文部科学省所管の文化財補助金が対象として考えられるため、必要な措置を講じるよう積極的に要望していく (社会資本整備総合交付金及び文化財補助金の補助率はそれぞれ50%) ・愛知県に補助制度の創設を積極的に要望していく
地 方 債	・地方債の活用を検討していく (地方債の充当率は、国庫補助事業のうち社会資本整備総合交付金事業をはじめとする公共事業等の場合90%、その他の場合は75%)
寄 附 金	・市民や企業等の理解と協力をいただきながら、広く寄附を募る
一 般 財 源	・市税など

江戸城天守再建に係る経済効果等 調査報告書

平成25年10月

株式会社 日本経済研究所

■ 江戸城天守再建の経済波及効果

江戸城天守再建の経済波及効果(初期投資と公開初年度の合計)は1,043億円、雇用誘発効果(同)は8,240人と推計される

経済波及効果の推計結果は、下表の通り。
算定に当たっては、総務省統計局「平成17年産業連関表(確報)」(34分類表)を使用
(算定のフローは次葉、各項目の算定結果は別添の通り)。

(単位:億円)

	初期投資 建設費	完成公開後 (初年度)	入場料収入		物販収入	合 計
			入場料収入			
需 要 増 加 額 (a)	350	70	40		30	420
国内需要増加額(直接) (b) =(a)*自給率	350	67	40		27	417
原材料増加額(直接) (c) =(b)*投入係数	179	30	17		13	209
雇用者所得増加額(直接) (d) =(b)*雇用者所得率	129	18	11		7	147
国内需要増加額(第1次) (e) =(c)*自給率	164	27	16		12	191
生産誘発額(第1次) (f) =(e)*逆行列係数	315	48	28		21	363
雇用者所得誘発額(第1次) (g) =(f)*雇用者所得率	79	11	7		5	90
雇用者所得誘発額(直接+第1次) (h) =(d)+(g)	208	30	18		12	238
家計消費支出増加額 (i) =(h)*消費転換率	150	21	13		8	171
国内需要増加額(第2次) (j) =(i)*自給率	142	20	12		8	162
生産誘発額(第2次) (k) =(j)*逆行列係数	230	33	20		13	262
総合効果(直接+第1次+第2次) (l) =(b)+(f)+(k)	895	148	88		61	1,043
雇用誘発効果(人) (m) =(l)*労働投入係数	6,656	1,584	1,019		565	8,240

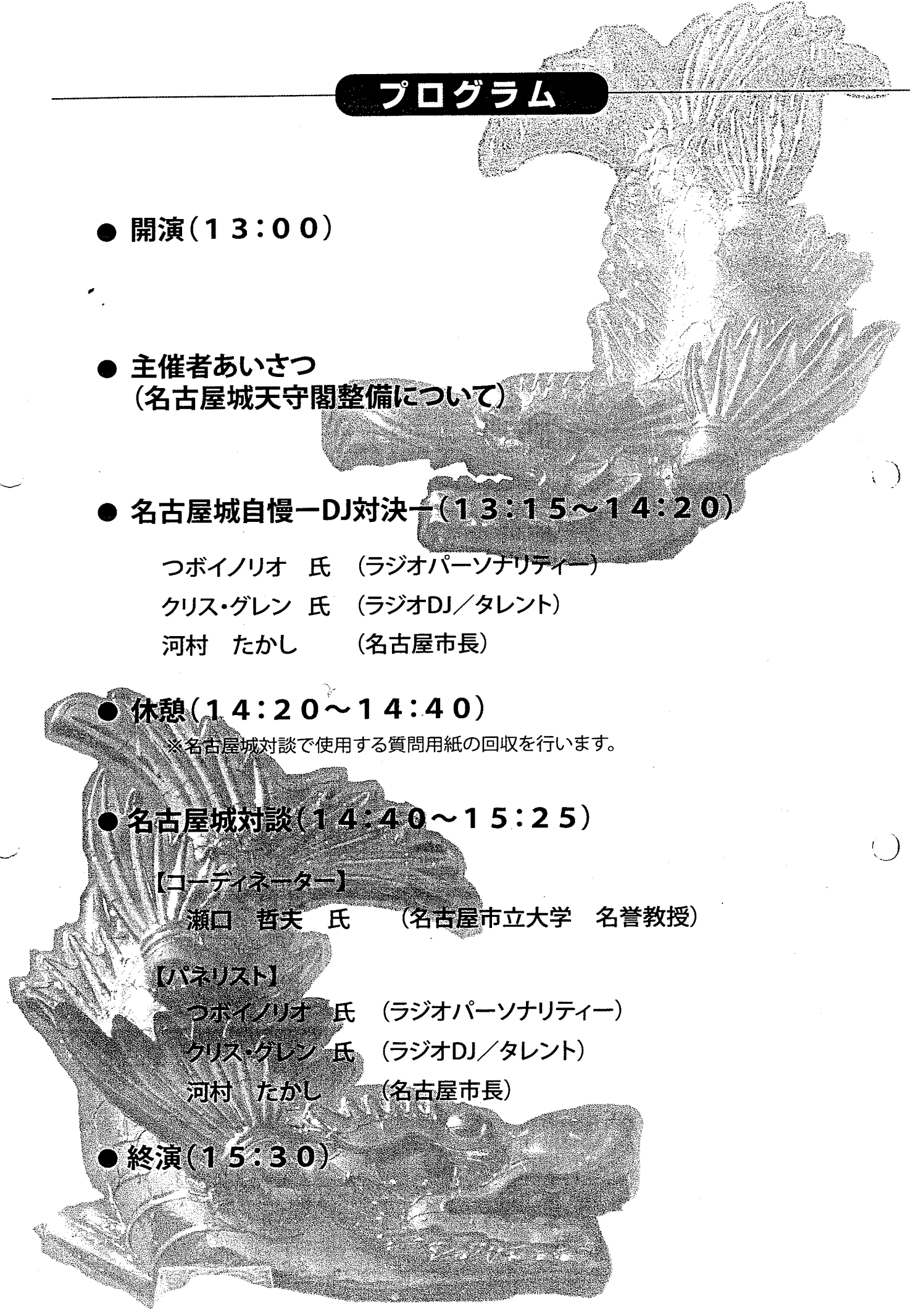
名古屋城天守閣フォーラム

～名古屋城自慢ーDJ対決ーつボイノリオVS.クリス・グレン～

平成27年8月29日(土) 13時00分～
名古屋能楽堂



名古屋市



プログラム

● 開演(13:00)

● 主催者あいさつ
(名古屋城天守閣整備について)

● 名古屋城自慢ーDJ対決ー(13:15~14:20)

つボイノリオ 氏 (ラジオパーソナリティー)

クリス・グレン 氏 (ラジオDJ/タレント)

河村 たかし (名古屋市長)

● 休憩(14:20~14:40)

※名古屋城対談で使用する質問用紙の回収を行います。

● 名古屋城対談(14:40~15:25)

【コーディネーター】

瀬口 哲夫 氏 (名古屋市立大学 名誉教授)

【パネリスト】

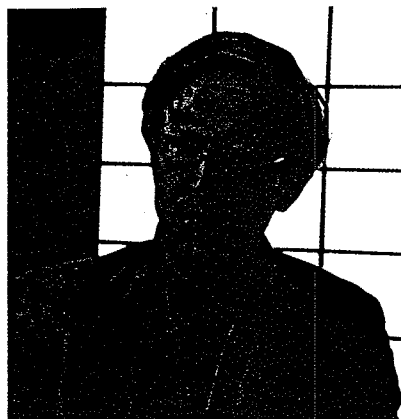
つボイノリオ 氏 (ラジオパーソナリティー)

クリス・グレン 氏 (ラジオDJ/タレント)

河村 たかし (名古屋市長)

● 終演(15:30)

出演者プロフィール



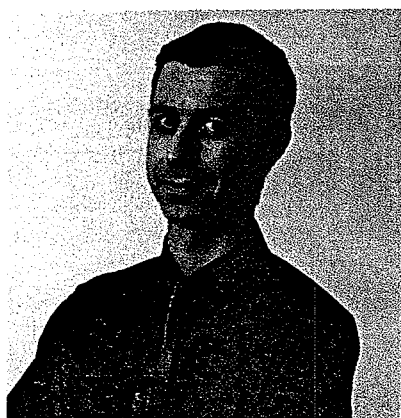
瀬口 哲夫 氏 (名古屋市立大学 名誉教授)

工学博士。近代建築史・まちづくりを専門とし、歴史的遺産を活かしたまちづくりに参画している。近代建築史の研究で日本建築学会賞(論文)、日本都市計画学会功績賞受賞。現在、特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議座長などを務める。



つボイノリオ 氏 (ラジオパーソナリティー)

愛知県一宮市出身、名古屋在住。現在、CBCラジオ「つボイノリオの聞けば聞くほど」のパーソナリティーを務めている。過去に名古屋城主催の歴史文化講演会の講師を務めるなど、名古屋城について造詣が深い。



クリス・グレン 氏 (ラジオDJ／タレント)

オーストラリア出身、93年より名古屋在住。ZIP-FM「Radio Orbit」を担当する他、東海エリアを中心にタレント、ナレーターとしても活躍中。訪れた城、城址は400カ所以上という城マニア。特に名古屋城へは500回以上訪問するなど愛着が深い。

名古屋城天守閣フォーラム

河村市長も
出るですよ！

名古屋城白慢〜DJ対決〜

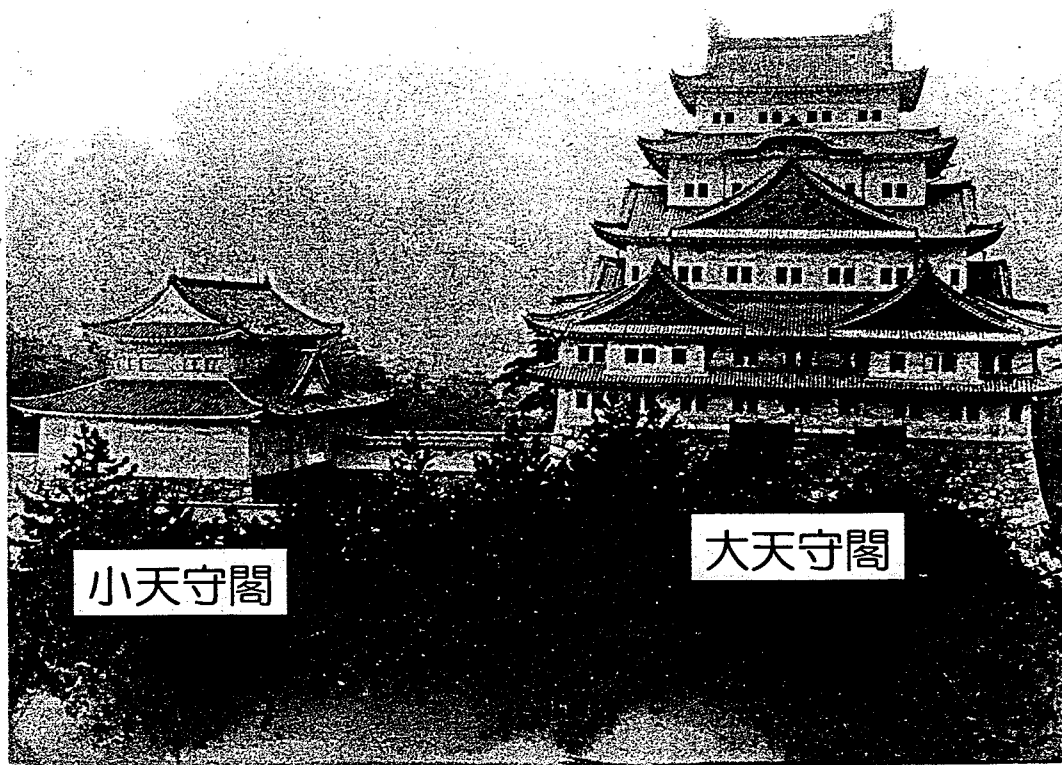
つぼい/リオ vs クリス・グレン

平成27年8月29日
名古屋能楽堂

天守閣のあゆみ

時 期		内 容
慶長15年	1610年	徳川家康の命により築城に着手
慶長17年	1612年	天守閣が竣工
宝暦 2年	1752年	宝暦の大改修(宝暦5年に終了)
昭和 5年	1903年	名古屋城、宮内省から名古屋市に下賜 天守閣はじめ城内の建物24棟が城郭として 国宝第1号に指定(旧国宝)
昭和 7年	1932年	名古屋城の実測調査を開始 (昭和27年度に実測図完成)
昭和20年	1945年	第二次大戦中の空襲により焼失
昭和34年	1959年	天守閣再建

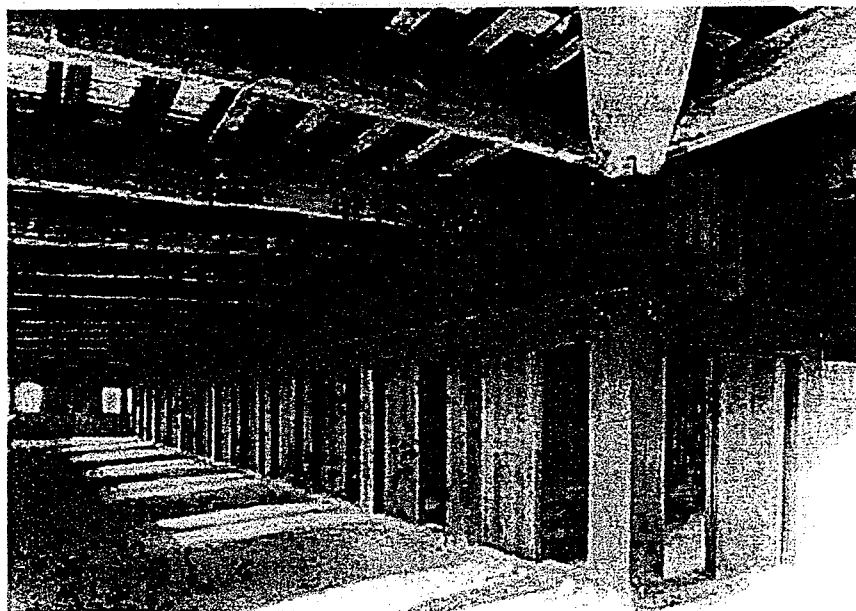
焼失前の天守閣(東側より)



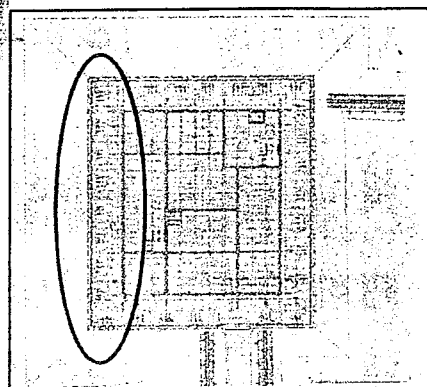
小天守閣

大天守閣

大天守閣(内部写真)



1 階西側廊下



小天守閣(概要)



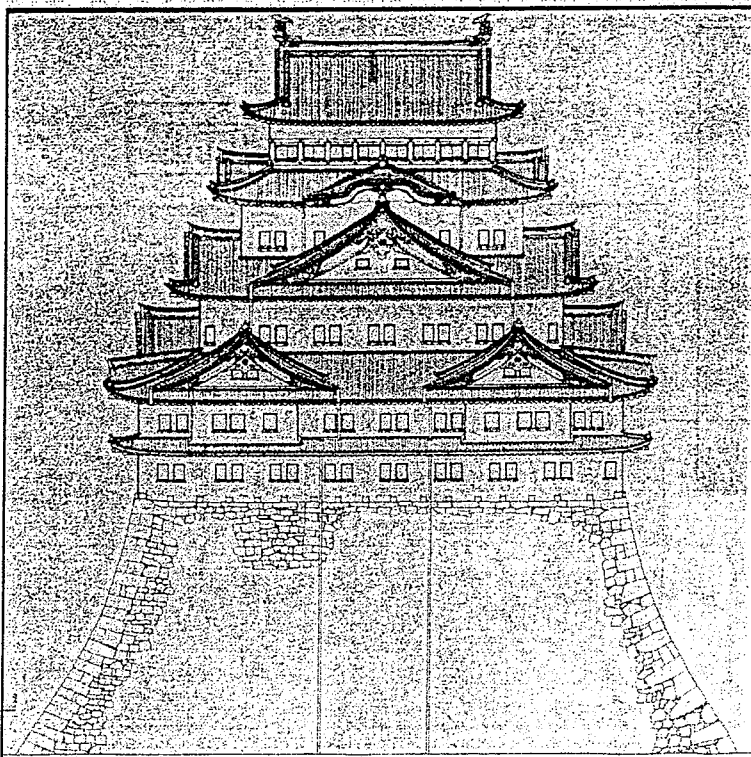
北側より

- 2層2階、地下1階
- 延床面積：831.86㎡
- 総高：24.741m

※延床面積と総高は、昭和
実測図より算定

※総高は本丸地盤からの高
さ（石垣の高さを含む）

昭和実測図①

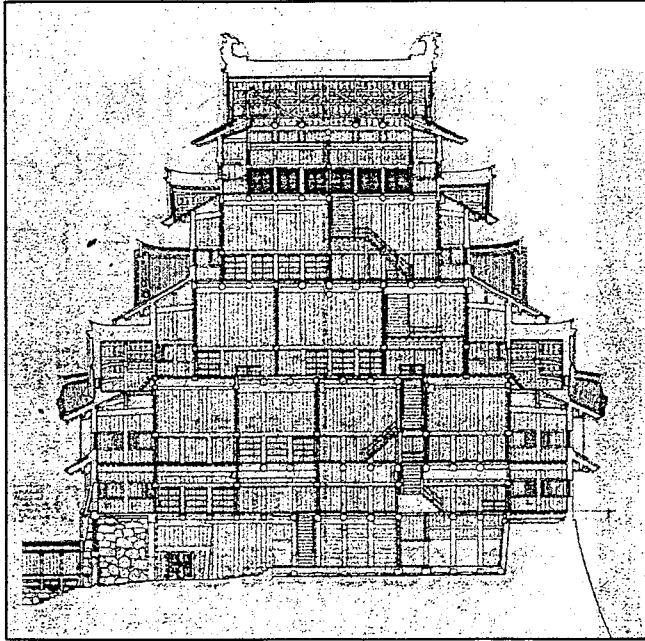


- 昭和7年から27年に
かけて、天守閣はじめ
国宝建造物24棟の実
測図面を作成

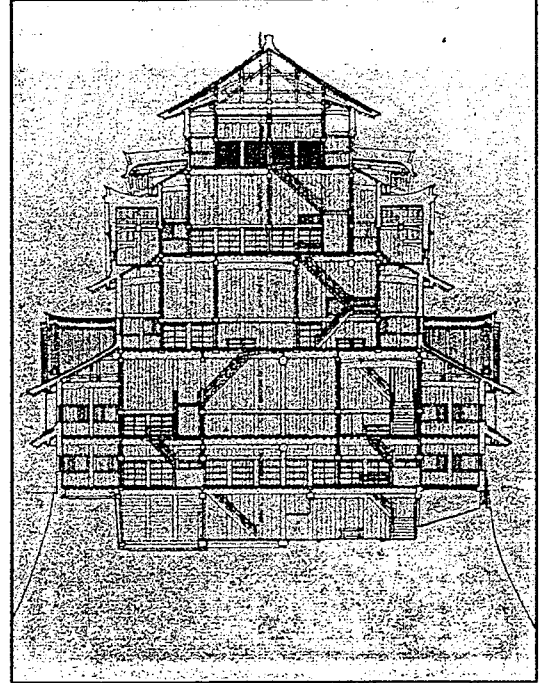
- 大天守閣：56枚
小天守閣：15枚

大天守閣立面図（西側）

昭和実測図②

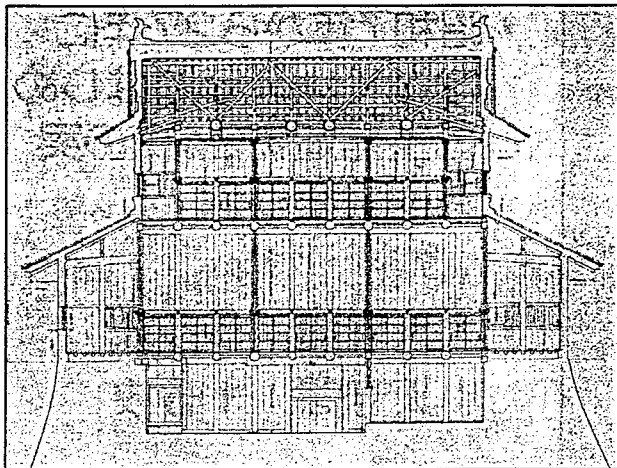


大天守閣縦断面図



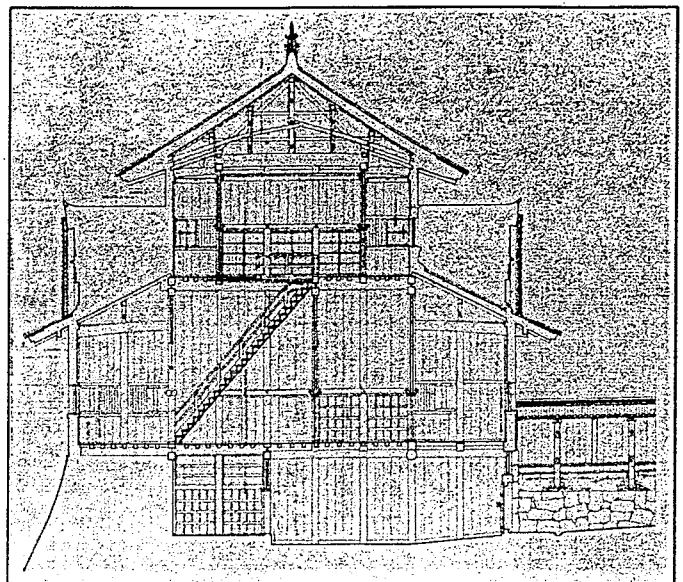
大天守閣横断面図

昭和実測図③



小天守閣縦断面図

小天守閣横断面図



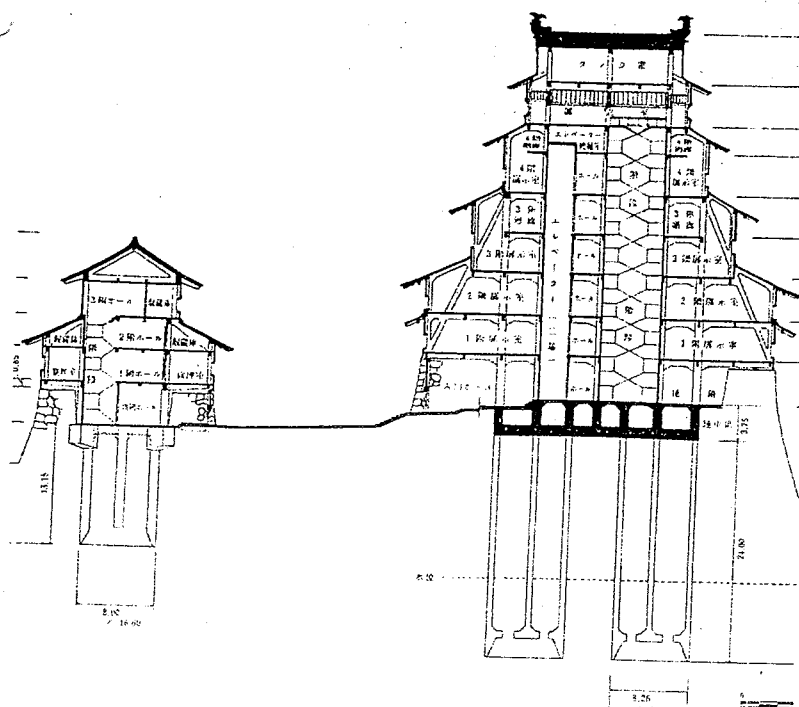
戦災による焼失



- 昭和20年(1945) 5月14日、空襲により大天守閣、小天守閣ともに焼失
- 天守閣のほかにも、本丸御殿など多くの建物が焼失

写真：中日新聞

現天守閣



- 昭和32年(1957年) 再建工事着工
 - 総工費約6億円（内、約2億円が寄附）
 - 鉄骨鉄筋コンクリート造の建物として再建
- 大天守閣：
5層7階、地下1階
- 小天守閣：
2層3階、地下1階

現天守閣の課題等

再建されてから56年が経ち、さまざまな課題が・・・

- ① 老朽化の進行（コンクリートの劣化、設備の老朽化、石垣の変形、石材の劣化）
- ② 耐震性能が現行基準に合わない
※耐震改修した場合でも概ね40年の寿命

天守閣整備の調査報告

木造復元する場合は？

検 討 項 目		可能な限り早期に 木造復元	耐震改修し 40年後に 木造復元
木材調達	大径木の流通量(400mm角以上)	△	×
	木曽檜(国有林)の流通量	△	△
	一般木材の流通量	○	○
社会情勢	建設コスト	△	△
	生産年齢人口	○	△
	税収	○	△
	大工や技術者の確保	○	△
40年間の維持管理費		○	×
財源		△	△

注 ○普通、△困難、×極めて困難

天守閣整備の考え方

整備に関する文化庁の見解

○天守の再建については、整備主体である地元の自治体がどのような整備を行うか考えることが第一

○天守を復元する場合は、原則として材料等は同時代のものを踏襲する必要があるが、それ以外の可能性を排除するものではない

○名古屋城天守閣については、往事の資料が十分そろっていることを踏まえると、木造によるできうる限り史実に忠実な復元をすべきとの意見が出される可能性が極めて高いと考えられる

天守閣整備の方向性

整備の方向性を決めるにあたっては
市民の皆様のご理解が大変重要です。

今後とも様々な機会に市民の皆様にご意見を伺いながら進めてまいります。

名古屋城天守閣フォーラム ご来場者アンケート

平成27年8月29日／名古屋市

Q1 本日のフォーラムについて

(1) 本日のフォーラムをどのようにお知りになりましたか。(あてはまるもの1つに○印)

1. 広報なごや 2. インターネット 3. 知人の紹介 4. その他 ()

(2) 名古屋城自慢—DJ 対決—について (あてはまるもの 1 つに○印)

1. とても良かった 2. 良かった 3. あまり良くなかった 4. 良くなかった

(3) 名古屋城対談について (あてはまるもの1つに○印)

1. とても良かった 2. 良かった 3. あまり良くなかった 4. 良くなかった

(4) フォーラムの感想をご自由にお書きください。

Q2 名古屋城に対する想いをご自由にお書きください。

Q3 現在の天守閣を今後どうしていくとよいと思うかご自由にお書きください。

【あなた自身についてお答えください（できるかぎりご記入ください）。】

年 齢	1. 10歳代 5. 50歳代	2. 20歳代 6. 60歳代	3. 30歳代 7. 70歳以上	4. 40歳代
性 別	1. 男性 2. 女性			
居 住 地	1. 市内 2. 県内市外 3. 県外			

ご協力ありがとうございました。出口にございますアンケート回収箱にお入れください。

名古屋城天守閣フォーラム 質問用紙

平成27年8月29日／名古屋市

Q：名古屋城自慢—DJ 対決—を聞いて、出演者に質問したいことをお書きください。

※質問したい出席者に○をおつけください。

（ご質問の出演者は、お一人をお願いします）

1. つボイノリオ氏 2. クリス・グレン氏 3. 河村たかし市長

ご協力ありがとうございました。

出口にございますアンケート回収箱にお入れください。

Blank lined area for notes.

名古屋市 市民経済局名古屋城総合事務所

電話：231-1700 FAX：201-3646

Eメールアドレス：nagoyajo@shiminkeizai.city.nagoya.lg.jp